

問題1 次のプロジェクトマネジメントに関する各設問に答えよ。

＜設問1＞ 次のシステムの開発規模を見積もる方法に関する記述と関連の深い字句を解答群から選べ。

- (1) 入力や出力、ファイルやデータベースなどの分類で機能の複雑さを数値化して、開発レベルの難易度から求めた係数で補正し、開発規模を定量化する方法。
- (2) 今までの経験や過去の類似プロジェクトでの実績をベースに見積もる方式。

(1)，(2)の解答群

- ア．ウォータフォールモデル
- イ．トップダウンアプローチ
- ウ．ファンクションポイント法
- エ．類推法

＜設問2＞ 次の画面作成作業の見積りに関する記述中の□□□□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

あるプロジェクトの画面当たりの標準作業日数は、表のとおりである。全部で100画面から構成されるシステムの画面作成作業において、大規模かつ複雑な画面が20、中規模かつ単純な画面が10、中規模かつ普通の画面が30、小規模かつ複雑な画面が40である場合の工数を標準タスク法で見積もると□□(3)人日になる。

表 画面当たりの標準作業日数

画面当たりの 標準作業日数（人日）		複雑度		
		単純	普通	複雑
規模	大	1.0	1.2	1.4
	中	0.6	0.7	0.9
	小	0.4	0.5	0.7

(3)の解答群

- ア．83
- イ．90
- ウ．91
- エ．99

＜設問３＞ 次のソフトウェアテストに関する記述中の□□□□に入れるべき適切な
字句を解答群から選べ。

ソフトウェアテストは、プログラムが設計書に定められた機能を充足し、正常に動作するかを検査する工程である。テストは、最小機能単位であるモジュールを一つずつテストする単体テストから始め、単体テストされた個々のモジュールを、2つ以上連結したプログラムが正しく動作するかどうかをテストする結合テスト、さらに結合テストを完了したプログラムが、実際の動作環境でうまく動作するかをテストするシステムテストというように段階的に進められる。

単体テストの手法として代表的なものに、モジュールの内部構造に着目して実施する **(4)** とモジュールの入力と出力に着目し、機能と性能が要求どおりになっているかを検証する **(5)** がある。また、結合テストの手法として代表的なものに、最上位のモジュールから下位モジュールへと結合していくトップダウンテストや最下位のモジュールから上位のモジュールへ結合していくボトムアップテストなどがある。ただし、トップダウンテストでは、下位モジュールの動きをするダミーモジュールとして **(6)** が、ボトムアップテストでは上位モジュールの動きをするダミーモジュールとして **(7)** が必要である。

(4), (5) の解答群

- ア. ビックバンテスト
イ. ブラックボックステスト
ウ. ホワイトボックステスト
エ. レグレッションテスト

(6), (7) の解答群

- ア. シミュレータ
イ. スタブ
ウ. デバッガ
エ. ドライバ